

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

聖路加国際病院薬剤部 大森 崇行

【研究責任者】

聖路加国際病院薬剤部 大森 崇行

アセトアミノフェンを投与された方を対象とした鎮痛効果の 継時的推移に関する研究

1.研究の対象

2013年11月～2018年10月の期間にアセトアミノフェン静注製剤による治療を受けられた方

2.研究の目的・方法

当院では、鎮痛薬の効果や追加投与の必要性について常に確認をしていますが、そのタイミングについて医療従事者間でバラツキが認められています。鎮痛薬の有用な投与計画及び鎮痛効果確認の適切なタイミングについて検討することが目的です。

2013年11月～2018年10月の間にアセトアミノフェンの静注製剤による治療を受けられた方の投与量や痛みの評価結果、評価時刻を解析に用います。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2023年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、身長、体重、体表面積、腎機能、肝機能、痛みの評価値（NRS0-10）、痛みの評価時刻、アセトアミノフェン投与量、投与時刻、手術日、手術開始時刻、終了時刻、術式、診断名、診療科、併用薬（定期・臨時・PRN・持参薬・麻薬処方、定期・PRN・麻薬注射（投与経路、IV-PCA push時刻・回数・総投与量）の投与開始時刻・投与終了時刻、実施時刻等

4.外部への試料・情報の提供

個人が特定されることの無いよう全て匿名化された状態で電子データ化し、大学と共同で解析を行います。データと研究の対象の方との対応表は、当院の研究責任者が保管・管理し、研究責任者以外がアクセスできない状態で行います。

5.研究組織

日本大学薬学部臨床薬物動態学研究室教授 松本 宜明
日本大学薬学部臨床薬物動態学研究室専任講師 宮本 葵
日本大学薬学部臨床薬物動態学研究室助教 青山 隆彦